

～稲沢市自主防災訓練補助金～

自主防災会が実施する防災訓練を行う際、自主防災会を組織する世帯の数（毎年3月1日現在の住民基本台帳登録されている世帯数）に100円を乗じて得た金額を限度に支給します。なお、同一年度1回限りです（他の自主防災会と合同で行う場合を除く）。

注 必ず訓練をする前に申請してください。訓練後の申請は認められません。

手続きの流れ

時 期	実 施 項 目
<p>訓練日の 1か月以上 前までに</p>	<p>補助金の申請</p> <p>① 補助金等交付申請書（様式第1号）</p> <p>② 防災訓練計画書</p> <p>③ 予算額調（様式第2号（その2））</p> <p>④ 振込口座票（通帳のコピー要添付）</p> <p>※ ⑤～⑨の書類は必要に応じて記入し、提出してください（用紙は事前にお渡ししていませんので、必要な場合はお申し出ください）。</p> <p>⑤ 消防団員派遣依頼書、防災ボランティアへの派遣依頼文 〈訓練時に消防団員又は防災ボランティアの派遣を希望する場合（消防職員の派遣を希望する場合には書類は不要です）〉 ※ 派遣を希望する場合には、事前に予約をしてください。また、他の自主防災会の訓練日等と重なり、希望に添えない場合がありますので、訓練予備日を決めておいてください。</p> <p>⑥ 消火栓等の使用に関する届出書 〈消火訓練や防火貯水槽への補水で消火栓を使用する場合〉</p> <p>⑦ 都市公園内行為許可申請書及び公園使用料免除申請書 〈都市公園を会場として使用する場合〉</p> <p>⑧ 合同防災訓練参加団体（申請書） 〈他の自主防災会と合同で訓練を実施する場合〉</p> <p>⑨ 道路作業届及び道路使用許可申請書 →稲沢警察署へ提出 〈道路上で訓練に係る作業を実施する場合〉</p> <p>※ <u>上記の書類は市ホームページよりダウンロードすることができます。</u></p> <p>以上の書類（以下「申請書類」という。）を提出。 提出先…防災安全課、各支所・市民センター （道路使用許可申請書のみ稲沢警察署へ提出）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【問合せ先】 稲沢市 建設部 防災安全課 電話 0587-32-1275（ダイヤルイン）</p> </div>
<p>申請書類 提出後約1週間</p>	<p>「補助金等交付決定通知書（市から郵送します。）」の受領</p> <p>※ <u>保管しておいてください。ただし、市へ返却・提出する必要はありません。</u></p>

<p>訓練 当日</p>	<p>① 訓練参加者数を確認する。 ② 訓練別の実施状況と参加者数が確認できるような全体写真を撮影する。(合計3枚程度) ③ 派遣依頼をされていて、雨天等で訓練内容を変更又は中止する場合は、その内容を派遣依頼団体に連絡する。</p>
<p>訓練終了後 1週間以内</p>	<p>完了の報告 ① 補助事業等完了報告書(様式第6号(その1)) ② 決算額調(様式第6号(その2)) ③ 補助金等交付請求書(様式第7号) ④ 訓練日に撮影した写真 ※ ⑤の書類は必要に応じて記入し、提出してください(用紙は事前にお渡ししていませんので、必要な場合はお申し出ください)。 ⑤ 合同防災訓練参加団体(完了)</p> <p><u>※ 上記①～③、⑤の書類は市ホームページよりダウンロードすることができます。</u></p> <p>以上の書類(以下「請求書類」という。)を提出。 提出先…防災安全課、各支所、各市民センター</p>
<p>請求書類 提出後 約1か月</p>	<p>補助金の受領 指定口座へ補助金の振込をします。 ※ 振込に関する「口座振込通知書」は郵送しませんので、通帳記帳等で確認をお願いします。</p>

※ 訓練を中止する場合は、必ず防災安全課へ御連絡ください。

補助金等交付申請書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

※申請書の提出年月日を記入

稲沢市長 殿

〒〇〇〇-〇〇〇〇

代表者住所 稲沢市〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

自主防災組織名 〇〇〇〇自主防災会

代表者氏名 〇〇 〇〇

申請額 金〇〇.〇〇〇円

自主防災組織の防災訓練を行うため、補助金等の交付を受けたいので申請します。

※補助金は、自主防災会を組織する世帯の数（**3月1日現在住民基本台帳に登録されている世帯数**）に100円を乗じて得た額を限度に補助していますので、補助金額（世帯数）を確認した上で記入してください。

●確認方法

・防災安全課へ電話などで問い合わせ

・市ホームページ

（トップページ>市政情報>統計・調査>人口と世帯数>人口調査表>過去の人口調査表）

備考 用紙

なお、申請額は訂正できませんので、申請額を書き損じた場合は、新しい申請書に記入し直してください。（修正液などによる訂正は不可）

申請額以外は、訂正印による訂正が可能です（代表者の私印を押してください）。

様式第2号(その1)

事業等計画書	
事業計画概要	別
事業施行の効果	別
事業施行場所	別
事業施行期間	別
予算額	別添予算額調のとおり

記入不要です。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

防災訓練計画書

※ 太枠線内のみ記入してください。

自主防災組織の名称	○○○○○	自主防災会	派遣要望
日時	令和 ○○ 年 ○○ 月 ○○ 日 午前・午後 ○ 時 ○ 分 ~ 午前・午後 ○ 時 ○ 分		○を付けてください↓
訓練実施による効果	防災意識の向上が図れる。		消防団員 ・
	晴 天 時		防災ボランティア ・
場所 (施設の名称)	稲沢市 ○○○○地内 (○○公民館前広場)		無
参加予定者数	○○ 人		
訓練内容	1	所要時間	約 ○○ 分
	2		約 ○○ 分
	3		約 ○○ 分
雨天時			
場所 (施設の名称)	稲沢市 ○○○○地内 (○○公民館前広場)		
参加予定者数	○○ 人		
訓練内容	1	所要時間	約 ○○ 分
	2		約 ○○ 分
	3		約 ○○ 分
当日連絡先	ふりがな ○○ ○○ 氏名 ○○ ○○	携帯電話番号など ○○○ - ○○○○ - ○○○○	

訓練項目一覧表

訓練項目	内 容	必要な資材等
情報収集、伝達訓練	各家庭における情報収集、伝達 集合場所での情報収集、伝達 被害情報、安否情報の収集、伝達	
避難誘導訓練	高齢者等避難行動要支援者の安否確認 訓練会場（避難所）までの避難誘導 訓練参加者（避難者）の確認 一時避難場所、避難場所への避難経路の確認	地図、ペン等
「無事を確認！ 黄色いハンカチ作戦」 (安否確認訓練)	災害時を想定し、「わが家は大丈夫、他の人を助けて欲しい。」という意思表示をするために黄色いハンカチを掲げる安否確認訓練	黄色いハンカチ
防災台帳の作成	避難行動要支援者台帳の作成	地図、ペン等
人材台帳の作成	地域の職種別人員管理台帳の作成	地図、ペン等
防災マップの作成	地区別防災マップの作成	地図、ペン等
給食、給水訓練	炊き出し、給水訓練	食材、はそり釜、ガスコンロ、ガスボンベ、
防災資機材の点検	地区の防災倉庫の資機材の点検、使用	紙、ペン等
災害対応カードゲーム 「クロスロード」	カードに書かれた防災事例を自分の考えでYES or NOを判断し、意見交換を行う 防災ゲーム（危機管理課貸出可）	
防災ゲーム 「ぼうさい駅伝」	すごろくゲームを防災の三択クイズを合わせた防災ゲーム（危機管理課貸出可）	
避難所運営ゲーム (HUG)	避難所で起こる様々な出来事に、どう対応していくかを模擬体験する防災ゲーム (危機管理課貸出可)	ペン、付せん等
避難所運営訓練	地区の避難所における運営訓練	
仮設トイレ組立て訓練	仮設トイレの組立て (危機管理課貸出可)	
災害用伝言ダイヤルの利用	災害用伝言ダイヤルの利用方法の習得	電話器

訓練項目一覧表

訓練項目	内 容	必要な資材等
三角巾による訓練	三角巾による応急手当法	
応急タンカによる訓練	竹、毛布による応急タンカの作り方	
人の搬送の仕方	人による搬送訓練	
心肺蘇生訓練	A E D（自動体外式除細動器）及び人形を使用した心肺蘇生訓練	
粉末消火器による訓練	消火器の取扱い方及び初期消火訓練 消火器の点検、設置場所の確認	粉末消火器、 オイルパン等
トレーナによる訓練	トレーナ（訓練用水消火器）による初期消火訓練	
Φ40ミリ消火栓による放水訓練	消火栓による放水訓練 施設の設置場所、ホースの数量、破損箇所等の点検、確認	消防用ホース、 筒先、ノズル等
小型動力ポンプによる放水訓練	小型動力ポンプによる放水訓練 設置場所、故障等の点検、確認	小型動力ポンプ等
映画	防災、減災等についての映画鑑賞 (危機管理課貸出可)	テレビ、ビデオデッキ、 DVDプレーヤー等
講義	防災、減災等についての講義	

※ 上記の訓練以外に、独自の訓練を実施していただいても、補助の対象になります。

様式第2号(その2)

予 算 額 調			
収 入			
区 分	予 算 額	説 明	
自主防災組織会計から繰入	23,000円	「補助」金のため、自主会計からの繰入が必要です。	
市 補 助 金	5,000円	補助対象 経 費 計 100円×50世帯=5,000円 限 度 額 5,000円	
計	28,000円		
支 出			
補 助 対 象 事 業 区 分	予 算 額	説 明	
防災訓練事業	28,000円	記入例	
		消耗品費	筆記具 ペン 1,000円
			〃 ノート 1,500円
		燃料費	消火訓練用油代 1,500円
		食糧費	炊出し訓練用食材 5,000円
			パン 7,000円
			ジュース 7,000円
		印刷製本費	写真印刷 500円
			チラシ印刷 500円
		資機材賃貸料	ガスボンベ 3,000円
計	28,000円		

注 補助対象事業区分欄は、補助対象経費の事業ごとに記入すること。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

振込口座票

自主防災組織の名称	○○○○自主防災会		
金融機関名	例. 愛知西 銀行 農協 信用金庫	店舗名	例. 愛知 店 支店 出張所
口座名	普通・当座	口座番号	○○○○○○○○
ふりがな	例. □□□□□□じしゅぼうさいかい だいひょう □□□□□□□□		
口座名義人	例. ○○○○自主防災会 代表 ○○ ○○ (口座名義人が個人名の口座には、振込ができませんのでご注意ください。)		

※ ①通帳の表紙と②通帳を開いて1ページ目（口座番号・口座名義人・金融機関名・店名が書かれている部分）のコピーを添付してください。

通帳のコピー貼り付け箇所

備考 用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とする。

補助事業等完了報告書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

※報告書の提出年月日を記入

稲沢市長 殿

代表者住所 稲沢市〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

自主防災組織名 〇〇〇〇自主防災会

代表者氏名 〇〇 〇〇

令和〇〇年〇〇月〇〇日付け〇〇稲防指令第〇〇-〇〇号で補助金等の交付決定を受けた自主防災組織の防災訓練が完了したので報告します。

施行場所 (施設の名称)	稲沢市〇〇〇〇地内 (〇〇公民館前広場)
施行期間	着手 令和△△年△△月△△日 完了 令和××年××月××日
決算額	別添決算額調のとおり

事業実績及び効果

例. 参加人数約〇〇人 (概数で結構ですので、必ず参加人数を記入してください。)

〇〇訓練を実施し、〇〇の方法を習得した。

〇〇を実施し、〇〇を作成した。

地域防災への関心が高まり、地域の防災力が向上した。

様式第6号(その2)

決 算 額 調			
収 入			
区 分	予 算 額	説 明	
自主防災組織会計から繰入	23,000円	<div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> 「補助」金のため、自主会計からの繰入が必要です。 </div>	
市 補 助 金	5,000円	補助対象 経 費 計 100円×50世帯=5,000円 限 度 額 5,000円	
計	28,000円		
支 出			
補 助 対 象 事 業 区 分	決 算 額	説 明	
防災訓練事業	28,000円	記入例	
		消耗品費	筆記具 ペン 1,000円
			〃 ノート 1,500円
		燃料費	消火訓練用油代 1,500円
		食糧費	炊出し訓練用食材 5,000円
			パン 7,000円
			ジュース 7,000円
		印刷製本費	写真印刷 500円
			チラシ印刷 500円
		資機材賃貸料	ガスボンベ 3,000円
計	28,000円		

注 補助対象事業区分欄は、補助対象経費の事業ごとに記入すること。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

様式第7号

補助金等交付請求書

令和 年 月 日

稲沢市長 殿

代表者住所 稲沢市 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

防災組織名 〇〇〇〇 自主防災会

代表者氏名 〇〇 〇〇

「補助金等交付決定通知書」の日付等を記入してください（申請日とは異なることがあります）。

請求金額	※注 <u>〇〇,〇〇〇</u> 円			
補助事業名	自主防災組織の防災訓練事業			
交付指令年月日等	令和 <u>〇〇</u> 年 <u>〇〇</u> 月 <u>〇〇</u> 日 <u>〇〇</u> 稲防指令第 <u>〇〇</u> — <u>〇〇</u> 号			
交付決定額	※注 <u>〇〇,〇〇〇</u> 円			
上記のうち受領済額	0円			
振替口座	金融機関名	店舗名	口座名	口座番号
	例. <u>愛知西農協</u>	<u>愛知支店</u>	<u>普通</u> ・当座	<u>〇〇〇〇〇〇</u>
請求の根拠 稲沢市自主防災組織 防災訓練補助金交付要綱	ふりがな	<u>〇〇〇〇〇〇じしゅうぼうさいかい だいひょう 〇〇〇〇〇〇〇〇</u>		
	口座名義人	<u>〇〇〇〇自主防災会 代表 〇〇 〇〇</u>		

※注 請求金額、交付決定額は訂正できませんので、書き損じた場合は、新しい請求書に記入し直してください（修正液などによる訂正は不可）。
請求金額・交付決定額以外は、訂正印による訂正が可能です（代表者の私印を押してください）。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。